

蒲生干潟の地形調査110 2025年10月30日



Fig.1 GPS簡易測量結果
(地理院地図を加工して作成)



Fig.2 七北田川河口(10/30撮影)



Fig.3 七北田川河口(9/10撮影)



Fig.4 潟湖南東部



Fig.5 カキの群生



Fig.6 潟湖中央部

調査日 2025年10月30日 (木) 10:10~11:40 ※干潮時刻3:06 (潮位47cm) 満潮時刻12:40 (潮位119cm)

Fig.1は、GPS簡易測量による10月30日の汀線である。七北田川河口は、右岸砂州が大きく張り出していた(Fig.2)。9月10日の調査の際に見られた左岸の砂州は見られなかった(Fig.3)。砂州の形状は、河口閉塞前の形状に近い形に戻っていた。潟湖全体の水量は少なく、南東部の潟湖は分断していた(Fig.4)。また、カキの群生が水面から出ている状態であった(Fig.5)。9月19日の調査の際には水量が多かったが、潟湖中央部は広く干上がっている状態であった(Fig.6)。

(門脇 駿)